

# 令和4年度 図画工作科経営について

## 1 本校図画工作科のねらい

- 形や色などの造形的な視点を理解し、材料等を活用して、創造する技能を身に付けることができるようにする。
- 形や色などの造形的な特徴を基に、自分の見方・考え方を深めながら、創造的に発想や構想、表現することができるようにする。
- つくりだす喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

## 2 目指す子ども像

小学校学習指導要領解説（平成29年告示）図画工作編には、「図画工作科の学習は、自らの感性や想像力を働かせながら、資質・能力を発揮して表現や鑑賞の活動を行い、つくりだす喜びを味わうものである。」とある。子どもは、幼い頃から雲や石などを形や色などの視点で捉え、見立て遊びをしたり、何かをつくったりする。このような経験で得る感覚を磨くことで、将来、洋服や日用品などを選択する際に生かしたり、何かを生み出したりと、生活を彩り豊かにすることにつながると考える。つまり、図画工作科の学びを通して、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力の育成を目指すことで、生活を彩り豊かにすることができると思う。

そこで、本校図画工作部では、「造形的なよさや美しさを探求する子ども」を育むことを目指す。「造形的なよさや美しさを探求する」とは、形や色などの特徴を生かして、自分の思いを実現していくことである。思いの実現を目指し、発想や構想、表現について試行錯誤を繰り返すことは、造形的な見方・考え方を働かせることにつながる。また、創造することを通して自分の成長やよさを自覚することで、子どもの自己肯定感が高まっていく。このような子どもは、生活や社会において、造形的なよさや美しさを主体的に見いだしながら、彩り豊かな暮らしを創造することができると思う。

以上のことから、本校図画工作部が目指す子ども像を次のように設定する。

造形的なよさや美しさを探求する子どもの育成

## 3 学習過程

図画工作科の各学習過程は子どもの思いを基に往来できるものとし、柔軟に指導にあたっていく。

学習過程	内容
題材に出会う	・自然物、人工の材料などに働きかける。 ・感じたことや想像したことなどを基に表したいことを考える。
発想や構想をする	・想像をふくらませ、活動や表したいことを思い付く。 ・表し方を考える。 ・表現の計画を立てる。
創造的な技能を働かせ表現する	・体全体を働かせて表し方を生み出す。 ・表したいことに合わせて材料や用具の特徴を生かして使う。 ・表現方法や表し方を工夫する。 ・経験や技能を総合的に生かす。
作品のよさや美しさを感じ取る	・表し方の面白さ、材料の感じなどに気付く。 ・表現の意図や特徴などを捉える。 ・表現のよさや面白さ、美しさを感じ取る。 ・感じた事や想像したことを伝え合う。

## 4 方策

### (1) 「選択型鑑賞学習」について

「選択型鑑賞学習」とは、複数の鑑賞材にふれることで、自分が行いたい表現方法等を選択できるようにする学習である。これは、鑑賞活動を学習過程の導入と終末だけでなく、子どもの実態に合わせて、意図的・計画的に取り入れた学習である。子どもは、発想や構想、表現の手掛かりを得たり見通しをもったりして、自分の思いを実現することができるようになると思う。

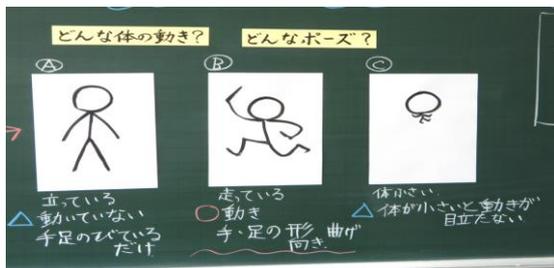


写真1 構想過程で提示した選択肢



写真2 表現過程で提示した選択肢

○「題材に会う」「発想や構想をする」過程での活用  
複数の表現方法や写真等を鑑賞して得たイメージや、材料や用具を試した効果を伝え合い、表現への思いと見通しをもつ（写真1）。

○「創造的な技能を働かせ表現する」過程での活用  
対話の相手と視点を明確にした相互鑑賞で得たものを手掛かりとして表現に生かす（写真2）。他者の効果的な用具の操作や表現の方法を、静止画や動画に記録し、表現の手掛かりを得る。別題材での表現に活用することも可能となる。

○「作品のよさや美しさを感じ取る」過程での活用  
本時の表現を静止画や文章で記録する。本時の表現の変容を基に、次への見通しをもつ。

### (2) 題材全体をつなぐ「ストーリーマップ」について

題材全体を通しての思いやイメージ、振り返りなどを1枚のワークシートにまとめていく。そうすることによって、子どもがいつでも題材全体を振り返ることができるとともに、「次は…」というようにイメージを連続的に発展させることができる。「前回の活動とつなげて、今日は〇〇をしよう。」や「最初は〇〇と考えていたけど、△△のように変えてみよう。」などといった、題材全体を通して思いや考えなどのつながり、変化を自覚しながら学習を進めることができると思う。

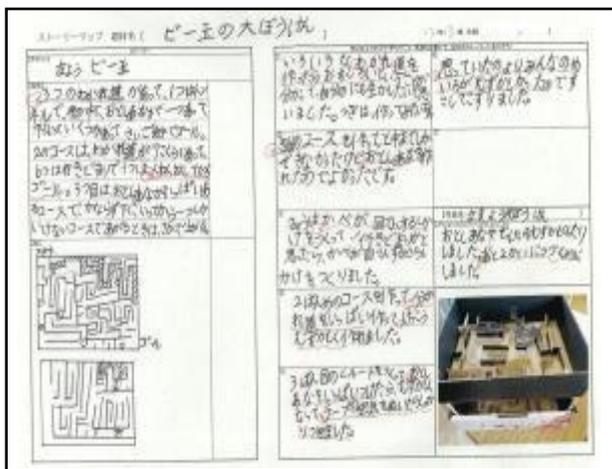


写真3 実際の「ストーリーマップ」

#### ○ 「ストーリーマップ」の内容

「ストーリーマップ」には、次のような内容を記すこととする。

- ・題材導入時の思い
- ・造形的な視点を使った各時間の振り返り  
（本時の学びと次時にしたいこと）
- ・設計図
- ・構想メモ 等

振り返りは、既知と関連付けた本時の学びや次にしたいことを記述する。そうすることで、自分の学びを俯瞰認知できるようになると思う。